

第8回 山口市中心市街地活性化協議会(要約)

1. 日 時 平成19年9月27日(木)19:15～20:30
2. 場 所 山口商工会議所5階コミュニティホール
3. 出席者 構成員19名、オブザーバー2名、その他5名、事務局4名 以上30名

4. 内 容

はじめに中野会長あいさつ、その後、新しく協議会に入られた(株)原弘産の原孝副社長より「ぱるるプラザを取得したが、中心市街地活性化基本計画のエリア内でもあり、山口中心市街地が活性化するために貢献できる施設を作りたいので、意見、アドバイスをよろしくお願いします。」とあいさつがあり、議事に入る。

【報告事項】

1. 「中心市街地情報提供事業」及び「まちと文化推進事業」の進捗状況

山口市より12月1日に実施の中心市街地活性化シンポジウム参加者募集と情報提供事業、まちと文化推進事業の進捗状況について説明。

2. 山口商工会議所「山口都市核づくり委員会」の報告

会議所委員会より山口市長への山口都市核づくりに関する要望書提出について説明。

3. 構成団体の最近の状況について

道場門前としては、12月上旬にどうもんパークがオープン。少し遅れている。2階は2カ所診療所2カ所、街づくり山口事務所。歯科については決定。50坪ほど 隣接地を借用して駐輪場を整備したい。

米屋町としては、北開発は一の坂河川回収事業合わせて進めている。南の駐車場は11月1日に24時間利用可能な無人化駐車場としてオープン。11月1日から4日間オープン記念のイベントを開催する。ビジョン作成については、今年度中に行う。

中市としては、山銀跡地とアルビ跡地の2カ所の開発事業があるが、もう少し時間がかかる。

【協議事項】

1. 会議の運営について

会議運営規定を設けることについて審議され異議なく承認された。

2. 一の坂川周辺地区整備の事業期間の変更について

市より「一の坂川周辺地区」まちづくり交付金事業について、平成17年度から平成21年度までの整備事業内容、平成22年度からの整備事業の概要について説明した後、まちづくり交付金事業期間の変更と期間変更に伴う目標値の下方修正について協議され承認された。

委員の意見は次の通り

米屋町は一の坂整備の中エリアにあり、整備事業を見込んで商店街活性化に取り組んでいる。できるだけ早く整備事業が進むことを願っている。

御局橋から千歳橋の間も早めに実現して欲しい。

周辺市民に理解を得て進めなければならない。新天街を残したいという声も聞くので意見調整をして進めて欲しい。

3. 中心市街地活性化基本計画に記載されている「市道中市2号線と市道中市町中河原線を結ぶ(仮称)市道中市町4号線」整備について

協議会事務局より、市道中市2号線(会議所前の道路)と市道中市町中河原線を結ぶ新しい道路整備を行うため、これから地元地権者に説明を行うことになるが、その説明を協議会事務局で行うことについて説明後協議、異議なく承認。

4. 専門部会の中間報告について

(1)第1専門部会

中村部会長より説明。広報予算がないので、行政情報をリンクして進め、参加者のアイデア・意見を入れて、広報活動を進めていく。区内と区外をどのように考えたらよいか、なかなか難しい。クイズ形式で中活エリア内を注目してもらうような事業を行えばという意見もある。

(2)第2専門部会

内山部会長より、中活エリア内の既存ストックの有効活用と、高齢者の街なか居住支援について課題を絞り込み事業計画中であることについて説明。この事業については、平成20年10月にまとめて協議会へ提出する。調査事業費が必要になるので山口市に要望したい。

(3)第3専門部会

吉富部会長より、商店街全体の魅力を高めるための事業について、駐車場料金を最初の1時間30分を100円に統一、正月1日、2日の無料開放、一店逸品運動、手荷物預かりロッカーの設置、冷蔵庫ロッカーの設置、商店街人材バンクの設立を検討中であることについて報告。

5. その他

委員より、南北の商店街の活性化のために、山口駅から商店街へ人が流れる方策を考える必要がある。そのために、当協議会の中に山口駅周辺の活性化についての専門部会を作っ
て欲しい。今回からぱるるプラザを取得された原弘産も参加されたし、ぱるるの横の土地も含めて協議会で議論できればと考えているがどうかという動議があり、異議無く承認。

以上